

体験するケンチク



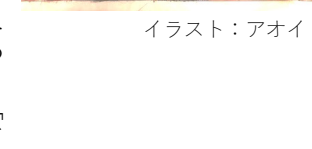
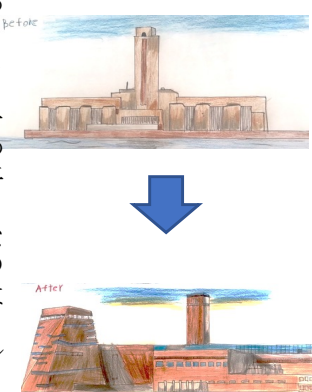
OPEN A(オープン・エー)
(*中央：馬場さんと記者達)

一番好きなリノベーション

記者…今まで見た中で、一番好きなリノベーション建築は何ですか？

馬場さん…僕がカッコいいと思ったのが、ロンドンにあるテート・モダンという美術館です。これは火力発電所のリノベーション。発電所が古くなったので稼働をやめたけれどその時ロンドン市民は「この建物何かにできないかな？」って考えた。

中のタービンを取り外すと、ものすごい大空間が残されました。新築では作れない空間のダイナミックさに感動しました。



イラスト：アオイ

あともう一つ好きなのはトルコにある「アヤソフィア」です。これはイスタンブールにあるモスク(イスラム教の寺院)ですが、その建物ができた時はキリスト教教会でした。イスタンブールというのはヨーロッパとアジアの交差点であり、歴史の交差点でもある街で、オスマントルコが征服した時に、そのままリノベーションしてモスクになりました。宗教が変わっても、みんながここを美しいと思う、大切に引き継がれているという話が好きです。



イラスト：ゆず

後編の今回は、前編「ケンチクってなんだろう」でお話をうかがった、建築家の馬場正尊さんのオフィスで記者たちが体験したことを紹介します。記者たちはリノベーション空間をどのよう

屋根のある公園のような職場

記者…自分のリノベーション作品で好きなものは何ですか？

馬場さん…このオフィスがけっこう好きです。ここはもともと空き倉庫で、天井も高くて気持ちいい。けど窓がないのでどう使うかと考えたときに、ここを「こういう使い方もできる」という実験の場にしようと思いました。

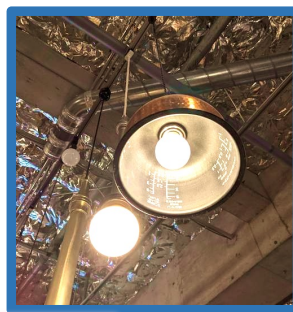
まずは建物を倉庫からオフィスへと変えましたが、ゴミも「こんな使い方ができる」と楽しく紹介するために、このオフィスの物も廃棄物を再利用しています。例えばこのテーブルはフォークリフトで使うパレットだし、あのライトは自転車のタイヤ。みんなが座っているソファはゴミ箱でした。人の生活は膨大なゴミを出しているんです。でもちよっとひと手間加えたり、デザインを加えたりすると、一気に楽しいものになります。

あと、この場所では働き方もリノベーションしようと思いました。建築の仕事はとても忙しいし、働く時間も長い。そんな状況の中でもみんなが少しでも健康でいるために、オフィスの中心に大きなキッチン置きました。キッチンでみんなが料理を作ったり食べたりしながら仕事の話をするというアイデアが浮かんだり、自然とみんなが仲良くなるんです。そんな風に何かいいことが起きればと、このオフィスは「屋根のある公園で働こう」という思いでデザインしました。こんな風に一つの建物、一つの作品の中にも、いろんな意味を込めたり、実験をするのが好きなんです。このオフィスはアンダーコンストラクション、略して「アンク」と呼ばれていて、「工事中」という意味です。ずっと完成せずに、これからも変わり続ける事務所でありたいというところ。ずっと実験をし続ける場所なんです。

*この新聞は2022年6月に発行したVol.15の続編です。ここで紹介している取材内容は2022年3月時点でのものです。

記者のお気に入り

インタビューの後、馬場さんが案内してくれたオフィスの中で、記者達が一番気に入ったものを紹介します。



お釜のライト

私たちの生活に欠かせないお米をたくお釜。こんなオシャレな照明になるなんて思って、ビックリしました。地味なイメージしかないものなのにリノベーションの力でガラッと他の物より変わったので、グッときたしびっくりしました。ここはリノベーションの凄さがいっきにわかるものばかりです。(アオイ)

ゴミ箱のソファ

自分も実際に座ってみて、ゴミ箱って気づかないくらい座り心地が良かったし、ゴミ箱って深さが深いから体がスポってハマるような感じが面白かったです。ゴミ箱ってゴミを捨てるだけかと思っていたけれどそれだけではないんだということに気づきました。(かりん)



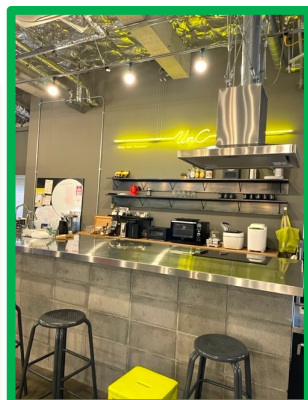
真ん中のキッチン

私はオフィスに入って最初に見えたのがキッチンで驚きました。というのも、キッチンプライベートな場所だし、会社や施設では隠されていることが多いからです。それをオフィスの真ん中に置くことで、働いている人たちが仲良くなったというお話が面白かったです。私もキッチンのあるオフィスで働きたいです。(カエデ)



工場で余った眼鏡のシャンデリア

金属の輪にカラフルなフレームの眼鏡をかけただけで、きらきら光るきれいなシャンデリアができるという仕組みに驚かされました。そう言われないうと全然気が付かないほど、シャンデリアとしてなじんでいました。ゴミになるはずだったものができるということは、本当にすごいと思いました。(ゆず)



ココがワッときた!

かりん…今は使われていない建物や物、廃材が役に立つものや、人を感動させるものになることにグッときました。今まで多くの物を捨ててしまいましたが、何かになるかもしれないと考えたいです。**アオイ**…私はよく使う日用品を再利用できるだけです。すごいと思ったけれど「その品の形や良いところをそのまま生かして捨てる」と「大切だったけど壊れてしまったものを、捨てずにずっと使えるようにしたこと」にグッときました。**ゆず**…「古いもの」を「新しいもの」に変えてしまおうではなく、それぞれの持ち味を生かして、居心地の良い空間を創っているのはすごいなと思いました。**カエデ**…建物だけでなく働き方もリノベーションするっていう考え方がおもしろかったです。デザイナーの力はすごいなと思いました。